

インフルエンザ情報 2013 年 第 20 週 (5 月 13 日 ~ 5 月 19 日)

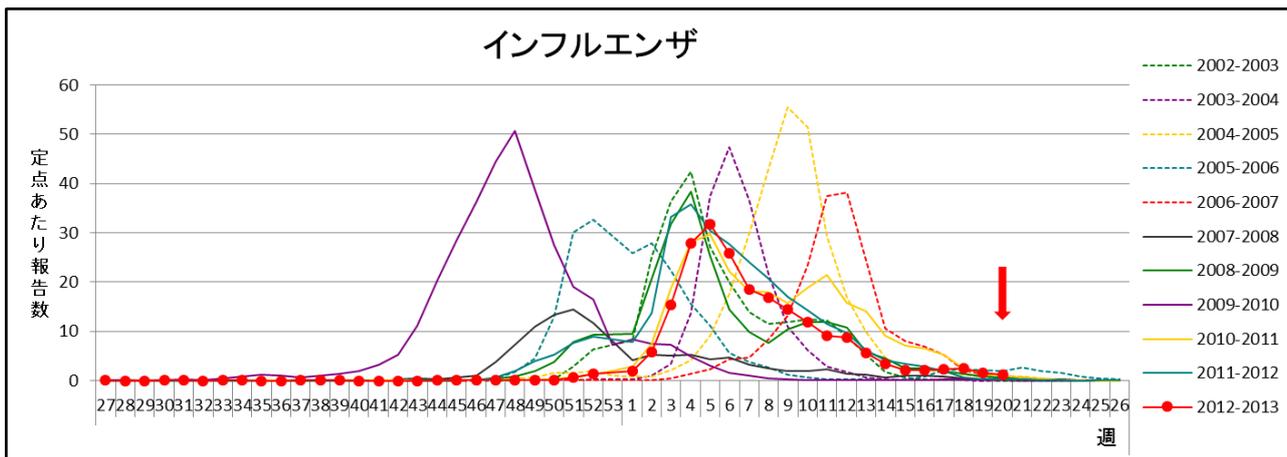
岡山県は『インフルエンザ注意報』発令中です

➤ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、108 名（定点あたり 1.62 → 1.29 人）の報告があり、前週より減少しました。
岡山県は「インフルエンザ注意報」発令中です。
- インフルエンザとみられる学校等の臨時休業が 6 施設でありました。
- インフルエンザによる入院患者の報告はありませんでした。

【第 21 週 速報】

- インフルエンザとみられる学校等の臨時休業が、岡山市の小学校 1 校でありました。（5 月 22 日）



※インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週 ~ 今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

インフルエンザは、108 名（定点あたり 1.62 → 1.29 人）の報告があり（84 定点医療機関報告）、前週より減少しました。

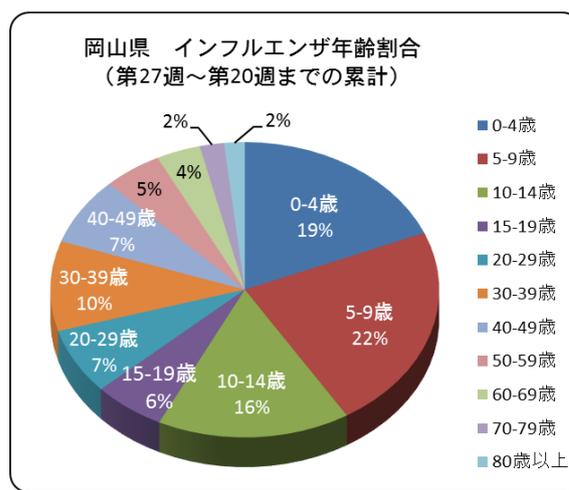
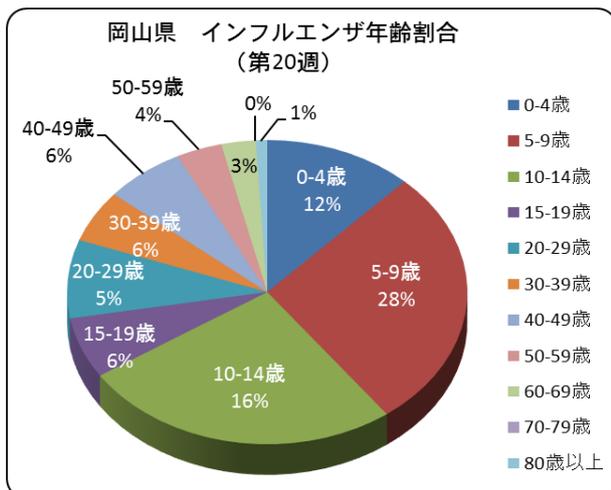
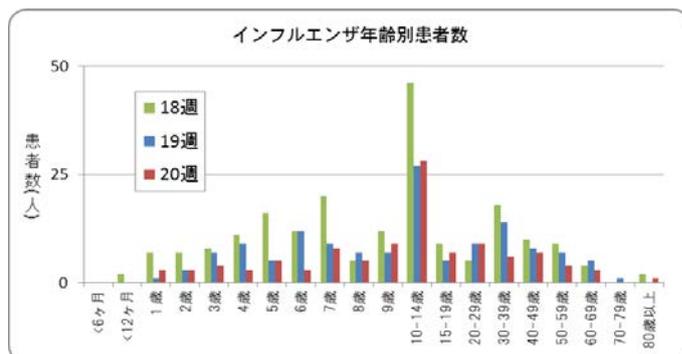
岡山県はひきつづき「インフルエンザ注意報」により注意喚起を図っています。手洗い・うがいなどの感染予防を心がけましょう。また、症状のある方は早めに医療機関を受診するとともに、マスクを着用するなど咳エチケットを心がけましょう。

※注意報の解除基準：2 週連続して、定点あたり 1 人を下まわった場合。

1. 年齢別発生状況

インフルエンザ患者の年齢割合は、5-9 歳が 28%、10-14 歳が 16%、0-4 歳が 12% の順で、幼児、小学生、中学生に該当する年齢層が患者の 56% を占めています。

第 19 週に続き、学校の臨時休業も報告されていますので、ひきつづき集団生活の中での感染に注意してください。

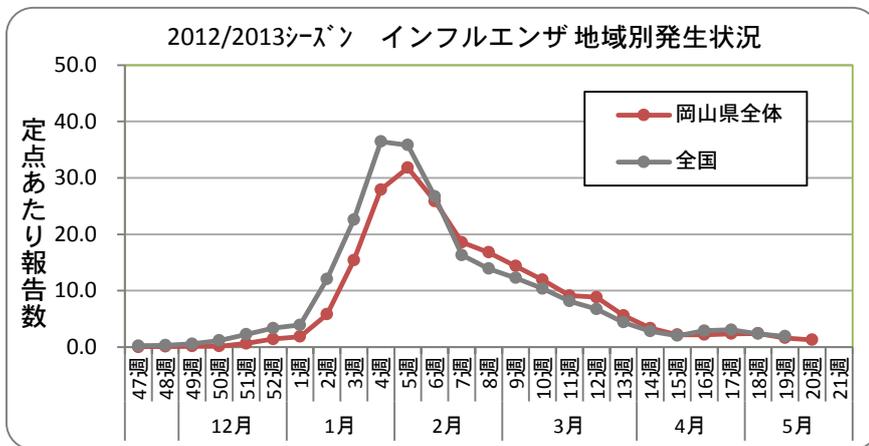


2. 地域別発生状況

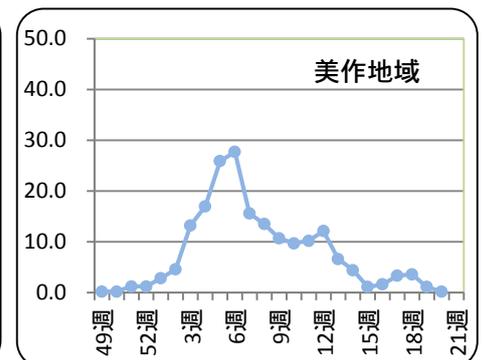
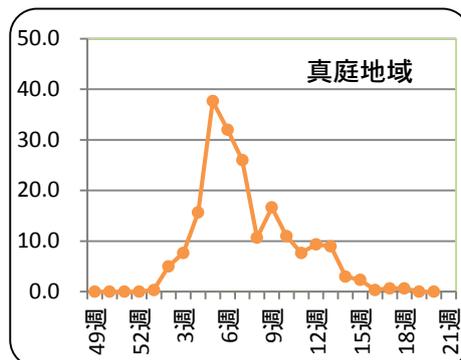
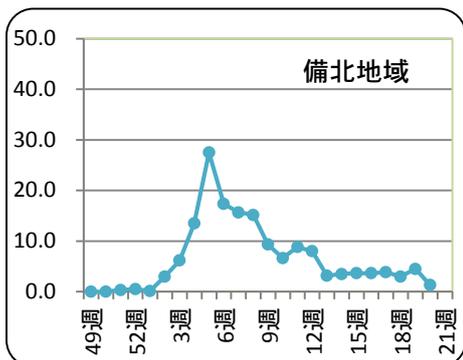
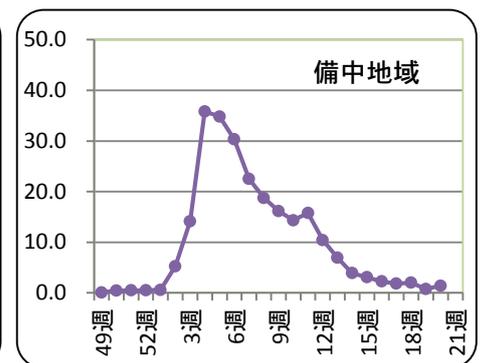
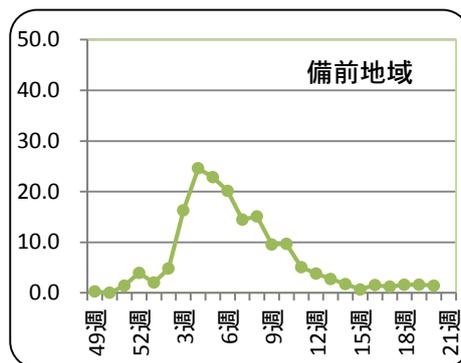
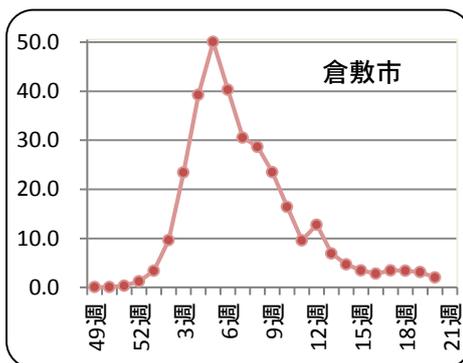
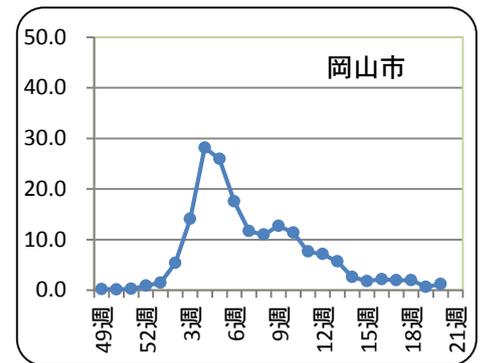
前週からの推移（単位：人）

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	108	↓	備 中	患者数	17	↑
	定点あたり	1.29			定点あたり	1.42	
岡山市	患者数	27	↑	備 北	患者数	8	↓
	定点あたり	1.23			定点あたり	1.33	
倉敷市	患者数	33	↓	真 庭	患者数	0	→
	定点あたり	2.06			定点あたり	0.00	
備 前	患者数	21	↓	美 作	患者数	2	↓
	定点あたり	1.40			定点あたり	0.20	

【記号の説明】 前週からの推移： 2倍以上の減少 ↓ 1.1～2倍未満の減少 ↘ 1.1未満の増減 →
1.1～2倍未満の増加 ↗ 2倍以上の増加 ↑



全国集計第19週(5/6～5/12)の定点あたり患者数は1.91人となり、前週(2.36人)よりも減少しました。都道府県別では宮崎県(6.61人)、富山県(4.56人)、福岡県(4.25人)の順に多く、41都道府県で前週の報告数より減少しました。



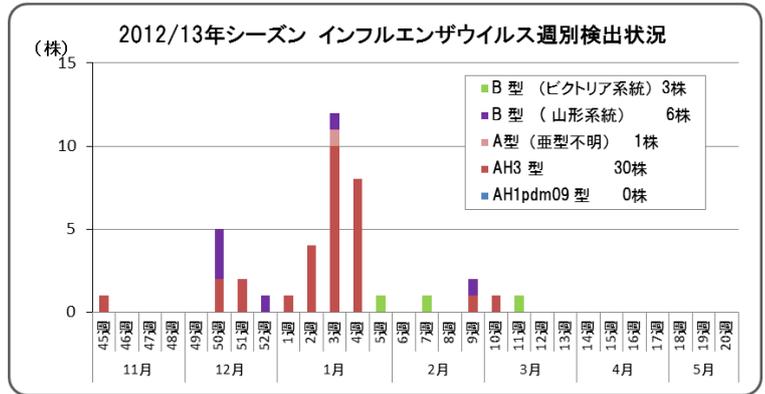
3. インフルエンザウイルス検出状況

第20週、環境保健センターで判明したインフルエンザウイルスは、ありませんでした。

今シーズンで、これまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型が30株、A型（亜型不明）が1株、B型（山形系統）が6株、B型（ビクトリア系統）が3株です。

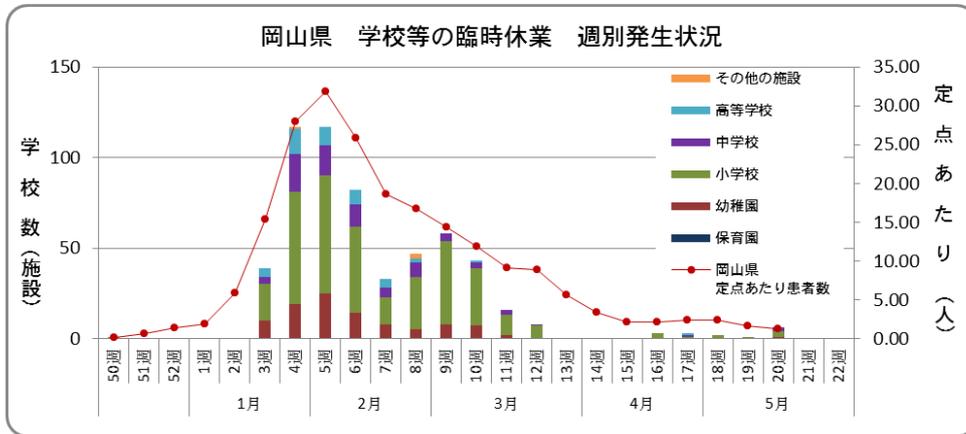
全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型が最も多く80%、B型が17%、AH1pdm09型が2%の順になっています。昨シーズン同様AH3型が主流になっていますが、B型の検出割合が徐々に増加しています。

[（インフルエンザウイルス分離・検出速報 国立感染症研究所 感染症疫学センター）](#)



4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザとみられる学校等の臨時休業が6施設でありました。



◆臨時休業施設数

1) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳 第20週

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	53	7926	40	5863	6	577	0	22	1	184	5	371	H 24. 11. 6
岡山市	26	2948	20	2137	3	189	0	2	1	31	2	156	H24. 11. 6
倉敷市	0	1791	0	1288	0	109	0	1	0	15	0	93	H25. 1. 15
備前地域	0	904	0	693	0	83	0	4	0	37	0	42	H25. 1. 15
備中地域	6	1115	4	899	1	93	0	6	0	42	1	45	H24. 12. 12
備北地域	0	310	0	238	0	32	0	3	0	23	0	6	H25. 1. 21
真庭地域	0	128	0	90	0	12	0	1	0	9	0	2	H25. 1. 21
美作地域	21	730	16	518	2	59	0	5	0	27	2	27	H25. 1. 15

* 地域名は、保健所管轄地域を表しています

2) 臨時休業施設数の内訳

第20週：6施設

累計：577施設

施設数	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	—	—	1	99	3	346	2	81	0	47	0	4

◆ **インフルエンザによる出席停止期間が改正されました。**

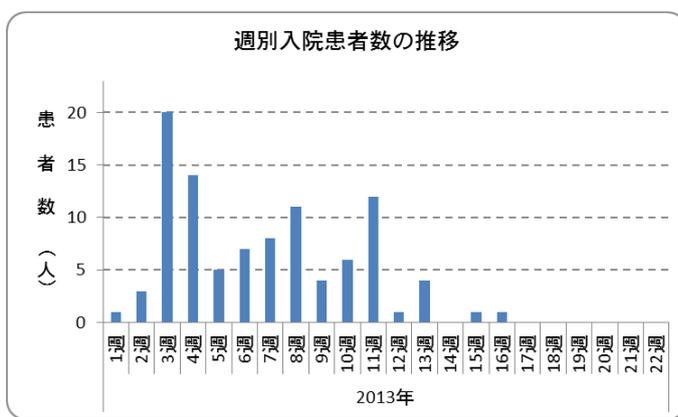
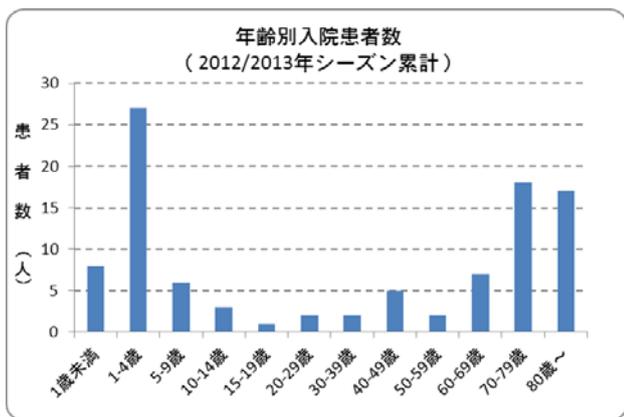
平成 24 年 4 月 1 日より、学校保健安全法施行規則が一部改正され、インフルエンザの出席停止期間が「解熱した後 2 日を経過するまで」から「発症した後 5 日を経過し、かつ、解熱した後 2 日(幼児にあつては、3 日)を経過するまで」に改正されました。水分を十分にとり、安静にして休養をとりましょう。

※ [学校保健安全法施行規則の一部を改正する省令の施行について\(通知\)](#)

5. **インフルエンザによる入院患者報告数 (県内基幹定点 5 医療機関による報告)**

インフルエンザによる入院患者は、ありませんでした。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので注意が必要です。幼児ではまれに脳炎を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずとうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関に相談しましょう。



【平成 24 年 9 月 3 日以降に入院した患者の累計数】

年齢	1歳未満	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	計*
入院患者数	8	27	6	3	1	2	2	5	2	7	18	17	98
ICU 入室										1			1
人工呼吸器の利用							1			1			2
頭部 CT 検査(予定含)		3	3	1	1	1	1				2		12
頭部 MRI 検査(予定含)		8	2		1		1						12
脳波検査(予定含)		1					1						2
いずれにも該当せず	8	18	2	2		1	1	5	2	6	16	17	78

* 重複あり

【鳥インフルエンザに関する情報はこちらをご覧ください】

・ [鳥インフルエンザ A \(H7N9\) について](#) ・ [県民の皆様へ](#)

